

基調講演 鈴木先生への質問

Q 鈴木先生はいつから日本の食料事情はおかしいと気づかれたのですか

A 2008年の食料危機からです。

事例報告 飯草さんへの質問

Q 栽培されている野菜に本音で値段をつけるとしたらどのくらいの価格になりますか？

A ご質問ありがとうございます。非常に難しい質問でもあり、消費者の皆様に価格を上げることを納得していただくには、生産者も適正価格についてきちんと考えていかなければ行けない内容だと再認識させていただきました。野菜は機械部品のように品質や規格を統一することが不可能なため、また種類も多様であるため、大根ならこの値段！という価格を決めるのは難しいです。

例えば

- ・曲がった大根とまっすぐな大根、
- ・大きな大根、小さい大根。
- ・一般的な大根、珍しい大根
- ・有機栽培かそうでないか

このように大根一つをとっても価格に差がつきますし、生産者によってのこだわり（有機だと手間ひまかかるので価格をあげたい）があります。

そこで違った目線からお話したいと思います。野菜は市場価格（スーパーの価格など）があり、個人的にはそれより2～3割ほど高い値段設定が良いのではないかと考えています。

高い値段で売れば農家に責任感も出て、より良い野菜を作ろうという向上心に繋がります。一方で市場より安かったりすると、それなりで良いやという農家が増え、品質の低下・農業でご飯が食べられないという人が増えていきます。

農業を一次産業として持続可能なものとするには、未来の子供たちが農業をやりたいと思える環境にしなければなりません。そのためには農業がきちんと所得を得られるものとしなければなりません。農業は消費者の皆様野菜を買っていただいて成り立っています。是非国産の農作物を買っていただき、日本の農業を守っていただきたいです！